読んでみよう 解いてみよう さん太のワークシート

玉野高吹奏楽部（玉野市）がＪＲの観光列車にオリジナル曲を提供しました。記事を読み、質問に答えましょう。

JR 観光列車 ラ・マル せとうち

玉野高吹奏楽部がＪＲ岡山駅と瀬戸内各地を結ぶ観光列車「ラ・マル・ド・ボァ」の宇野行き「ラ・マル　せとうち」にオリジナル曲を提供した。下りの車内で乗客に自動配信される観光ガイドのオープニングを飾り、穏やかな海など自然に恵まれた市の魅力をアピールする。（西崎哲也）

玉野高吹奏楽部協力

独自曲 市の自然表現

オリジナル曲は「ラ・マル・ド・ボァに寄せて」。宇野駅で演奏会をした縁でＪＲ側が昨夏、オリジナル曲作りと出演を依頼。同高は地域貢献の一環として協力を決め、同部顧問の山田明日香教諭が作曲し、昨秋に同高で演奏風景を収録した。

冒頭、岡山駅で出発時に鳴らされる鐘を木琴で表現。玉野の海や自然の美しさを思わせる優雅でテンポの良い曲調で、旅の始まりの高揚感をかきたてる。

「ラ・マル　せとうち」到着に合わせ、乗客を演奏で歓迎する玉野高吹奏楽部

ガイド配信、旅「わくわく」演出

「ラ・マル　せとうち」が本年度初めて運行された2日、同高吹奏楽部員ら20人が宇野駅構内でオリジナル曲など7曲を演奏。満席の列車からホームに降り立った45人が聞き入り、手拍子を送るなど楽しんだ。

3年大塚苺華部長(17)は「玉野を盛り上げる取り組みに参加できてうれしい。演奏や映像を通じて、わくわくした気持ちで玉野に来てほしい」と話していた。

観光ガイドは宇野行きの下り限定で、スマートフォンを事前設定することで列車の移動に合わせ、市内の飲食店や観光スポットを紹介する7本の動画が自動で流れる。オリジナル曲は大元駅辺りで再生が始まり、吹奏楽部の演奏とともに宇野港や市内の飲食店、ホテル、玉野海洋博物館、王子が岳の映像が約2分半映し出される。

「ラ・マル　せとうち」は4月の土日、8月の金土日に運行する。

7日付山陽新聞、玉野圏版

Q1 玉野高吹奏楽部が提供したオリジナル曲は、ＪＲ岡山駅から宇野駅に向かう観光列車でどのように使われますか。第１段落（リード）の言葉を使って答えましょう。

Q2 オリジナル曲は旅の始まりの高揚感をかきたてます。どのような曲調か、第２段落から抜き出しましょう。

Q3 オリジナル曲の演奏とともに流れる映像には、何が映し出されますか。第６段落を読んで答えましょう。

過去の問題はこちらから▶▶

◇「さん太のワークシート」は自由にダウンロードして、学校や家庭での学習に活用してください。